

第2回 阿蘇・米本地域義務教育学校設立準備委員会

- 開催日時 令和2年11月27日（金）18：00～18：25
- 場 所 Web会議システムを使用して以下の4会場をつないで実施
阿蘇小学校，米本小学校，米本南小学校，阿蘇中学校
- 報 告 （1）学校運営部会（A部会）報告
（2）教育環境整備部会（B部会）報告
（3）通学安全部会（C部会）報告
（4）保護者地域連携部会（D部会）報告
- 出席者 綿貫哲夫委員長，各部会長（大澤阿蘇中校長，市村米本南小校長，高原米本小校長，槇阿蘇小校長），部会委員41人
- 事務局 指導課3人，学務課6人，保健体育課4人，教育総務課5人
教育センター1人
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴人 2名：米本小会場1人，米本南小会場1人（各会場定員3人）
- 報告内容

○綿貫委員長挨拶

7月31日に設立準備委員会がスタートし，委員の皆様には御多忙の中，御参会・御協議いただき心より感謝申し上げます。本日は，全体会ということで，各部長からこれまでの会議内容の報告をしていただきます。その中で，部会を越えて協議をする内容も出てきていると聞いています。他の進行状況も確認した上で，本日の部会での協議を進めていただければと思います。

○報告1 学校運営部会（大澤阿蘇中校長より）報告

A部会でこれまで話し合った内容，及び今後の予定をご報告いたします。これまで，7月31日の全体会の後，第1回目を行い，9月11日，10月23日，そして本日の計4回を実施いたしました。4校の教務主任を中心としたメンバーでは，学校運営について話し合いを行ってまいりました。

これまで，学校経営方針を中心に検討してまいりました。話合いの内容としては，学校教育目標や学校の基本理念・基本方針，児童生徒の目指す姿などです。学校の根幹である，学校経営方針は，慎重に検討を進める必要があること，また，ほかの教育活動にも影響することですので，統合4校の学校経営方針や，各校児童生徒の学力・学習状況も鑑みて，話合いを進めてまいりました。

学校教育目標の案として，「夢や希望に向かい，地域とともに次代を拓く児童生徒の育

成」を考えております。経緯としましては、地域とともに歩いていく学校こそ、この阿蘇、米本地域にふさわしいという委員の先生方からの意見、これからの社会を生きていく児童生徒に、夢や希望をもって日々過ごしてもらいたい、という委員からの願いも含まれております。

また、その学校教育目標の案を受けて、基本理念・基本方針を、

- ・ 9年間の一貫教育を生かした学びの充実と基礎学力の定着
- ・ 阿蘇・米本地域への愛着、誇りを育てる教育
- ・ 全教育活動における ESD の推進 を考えております。

開校するにあたり、これからの社会、どのような姿が求められていくのか、そして阿蘇・米本地域の児童生徒にどのような姿を求めていくのか、といった目指す児童生徒像も検討してまいりました。具体的には、

- ・ よく考え、豊かに表現する児童生徒
- ・ やさしく、仲間の心がわかる児童生徒
- ・ たくましく、最後まで取り組む児童生徒 で調整しております。

また、児童生徒像をふまえて、めざす学校の姿を、

- ・ 学び合い みんなで考え、ともに伸びる学校
- ・ 高め合い みんなで励み、ともに拓く学校
- ・ 認め合い みんなで歩み、ともに創る学校 と考えております。

ここまで、部会で検討した内容についてお話してまいりましたが、さらに検討を重ねていく必要があります。開校に向けて、今後も慎重な話し合いを進めていきたいと思っております

そして、今後の話し合いの議題としては、教育課程の特色、例えば6・3制や4・3・2制などといった9年間の区切り方や教育課程の特例、義務教育学校の特性を生かした日課時刻表などを検討していきたいと考えております。

○報告2 教育環境整備部会（市村米本南小校長より）報告

これまで教育環境整備部会では、大きく分けて3点について協議を行ってまいりました。1点目が新校名案、2点目が学校施設、3点目が学用品についてです。順に報告させていただきます。

1点目の新校名案については、検討方法、募集要領についての協議からスタートしました。その結果として、広く公募を実施し、学校での応募用紙配布、教育委員会ホームページや広報やちよでの周知を行い、11月24日まで新校名案を募集してきました。統合対象

校の児童生徒・保護者・地域の皆様をはじめ多くの方々にご協力いただき、総計 260 通を超える新校名案が集まっております。本日の部会では、集まった新校名案を基に検討作業をおこなっていく予定です。

なお、新校名につきましては部会として協議したものを教育委員会へ提出し、最終的には市議会の議決を経て決定となります。

2 点目の学校施設につきましては、10 月の部会で阿蘇中学校校舎内の視察を行いました。市の施設担当者立会いの下、現段階での教室配置案を見ながら、校舎内をまわりました。子ども達が安心安全に学校生活を送れるように学年ごとの教室配置や施設の改修についての意見・要望を出しました。

3 点目として学用品についての協議を行っております。10 月の会議から義務教育学校で使用する制服と体操服についての協議を始めました。こちらは委員の中から出てきた意見を基に、今後どのようにして制服・体操服を選定していくかという方法について協議をしている段階です。先進校での実施状況等を参考にしながら、進めていきたいと考えています。

今後、教育環境整備部会では、引き続き新校名案、学用品の検討とともに、校章・校歌等についても検討をしていく予定です。

○報告 3 通学安全部会（高原米本小学校校長より）報告

通学安全部会は子どもたちの安全第一を考えて進めています。米本小学校・米本南小学校については、バス通学をしていないため、まず知るところから始めました。現在、阿蘇小学校で行われておりますバス通学のルートを実際に見て確認しました。また、バス通学の様子を撮影した動画を見て確認しました。

米本小学校・米本南小学校のバスルートですが、学童の帰りのルートを参考にしまして団地の外周道路を利用するのが良いのではないかと進んでいます。

また今後、通学の実態を知るといことでアンケートを配布する予定でございますので、そのアンケートの内容について部会内で検討しております。バスが無償か有償かによってバスの利用人数が変わるのではないかと議論もありますので、これからも継続して検討していきたいと考えております。また、バスだけではなく、新しい学校ができるわけですので、統合校全体を見ての危険箇所の対策等を含めた通学の安全についてこれから検討していく予定です。

○報告 4 保護者地域連携部会（榎阿蘇小学校校長より）報告

これまで4回の会議を実施し、1回目から3回目までは学童保育に関することを議題として行いました。初めに事務局から新設校敷地内に別棟の学童保育所を建設する考えであ

ることと、その概要を説明し、意見を交換しました。

主な意見は、米本地域の学童保育所について存続ができないか。また、敷地内に建設する場合、中学生の部活動と動線を分けて安全に学童保育をしてほしい。学童保育の児童が遊ぶ遊具を設けてほしい。米本地域の方の利便性が低下しないように学童保育終了後に無料バスを運行してほしい。土曜日や夏休み等は往復運航について検討してほしいといったものでした。

これらの意見に対して事務局からは、児童の安全面等から学校敷地内での保育とし、十分な規模のものを予定すること。保育児童が安全に外遊びできるようフェンスを造ることを予定していること。学童専用ではないが、学童付近に遊具を設置してほしい旨を教育環境整備部会に伝え、連携を図っていくこと。バスの経路や本数に関することは通学安全部会に伝え、学童保育終了時刻にも運行できるよう関係部局と協議をしていくこと。合わせて、バスの運賃の無償化及び土曜日や夏休み等の長期休業期間における往復運行についても、関係部局と協議をしていくことの回答がありました。

第4回会議では、PTA組織のあり方について意見交換を行い、①新設校のPTA組織を1～6年生、7～9年生で分けず、一つとすることを前提で協議していく。②現在のPTA主催の行事も引き継ぎつつ、子どもたちの教育環境の向上に協力できるような組織としていきたいといった基本コンセプトを決定しました。

今後は、統合された小学校3校の活用についても意見を交換してまいります。